



俺の夏休みは

若女将

ギョウ

とバイト  
性生活!?

16  
ぺい

Ore no Natuyasumi ha Gal no  
Wakaokami to Baito Seikata!?







でも西倉くんが  
どうするかは  
私の責任やないし…

あの時の  
言葉…

もしかして  
西倉くんが  
受け入れて…?



きんきんきん…!

きん

なんで二人が  
ここであんな  
ことを…?



きんきん…♡



きんきん

やっぱり一緒に  
行きたいよなんて  
言うんじゃなかった…





はー♡

わ…私も…

はー♡

もう  
イッチャイネウ…♡



んっ

あ…♡

んっ

奥まで…  
来ちゃってる…♡



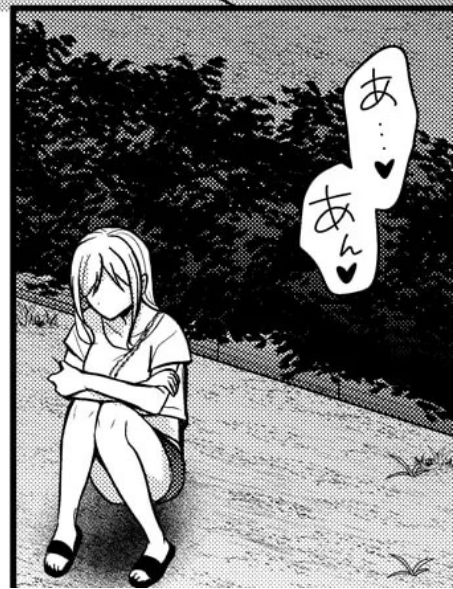
ね…?

…っ  
ビク  
ビク



雪音に西倉くん  
とじわちやっ…

んっ  
んっ  
…んっ



あ…♡  
あん♡



でもそんなの  
嫌だよ…

ねえ…

やつぱり  
ほのか  
穂香やなくて  
私じゃダメかな…?



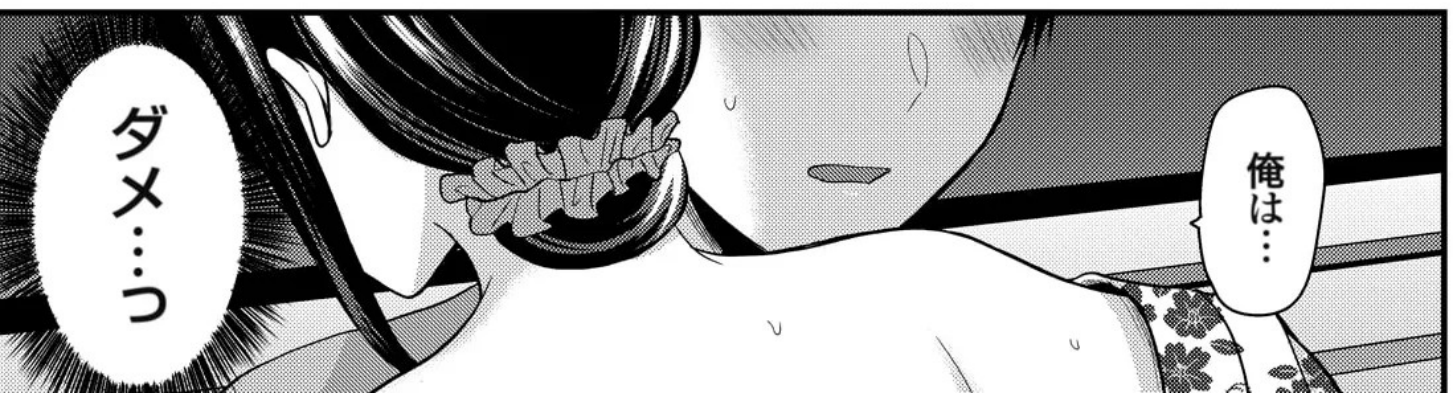
ダメ…



お願い…

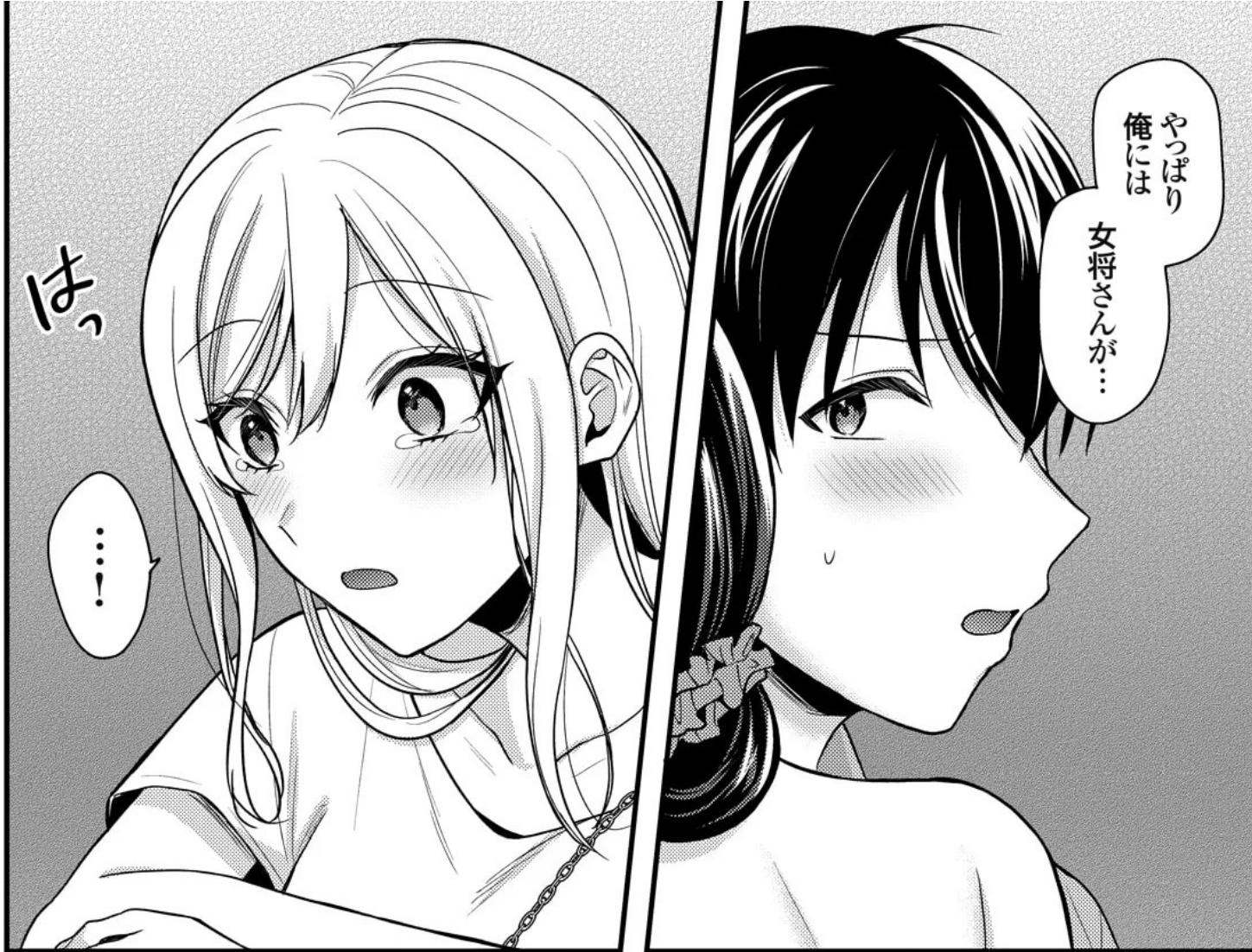
なか  
膛内に  
出していいから…

雪音…さん…



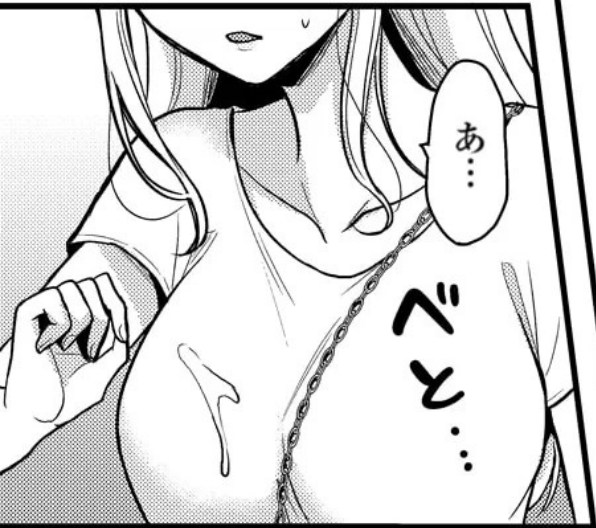
俺は…

ダメ…っ









ゆ…  
雪音…

西倉くんに変なこ  
しないうて言ったのに  
どういふこと!?



どういふつもりも  
何も自然の流れで  
こうなっただけやよ?

嫌なら  
取り返して  
みたら?



かしっ

お…  
女将さん!?

……っ





…雪音に  
渡したくない

ん…

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ



女将…さん…ん…

ん…  
ヒキ

ん…  
ヒキ



ん…

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ん…

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

女将さんの  
舌が…

はぁ

はぁ

…っ！

はぁ  
はぁ

気持ちいい  
とじんを  
責めてくる…っ

はぁ  
はぁ  
はぁ



雪音よりも  
気持ち良く  
させてあげる…♡



はぁ、大きく  
なってきた…  
気持ちいい…っ



んんっ!!  
いま手で  
擦られたら…っ





何勝手に  
割り込んで  
きてんのよ!?

ん...♡  
ん...♡

ちゃほっ  
ちゃほっ  
ちゃほっ



あたし  
だつて...っ

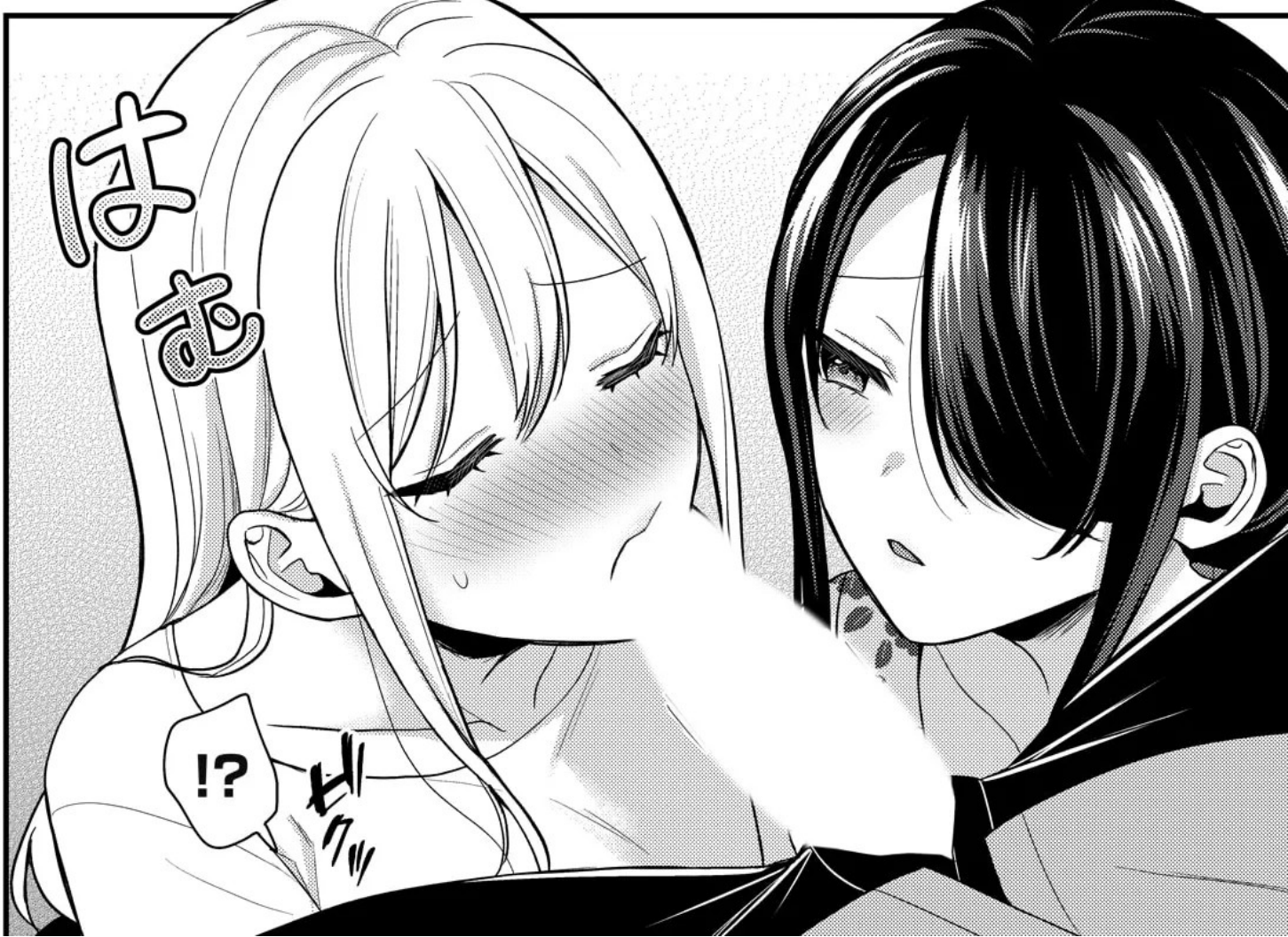
ぱっ



最初に  
割り込んできたのは  
穂香の方やろ?

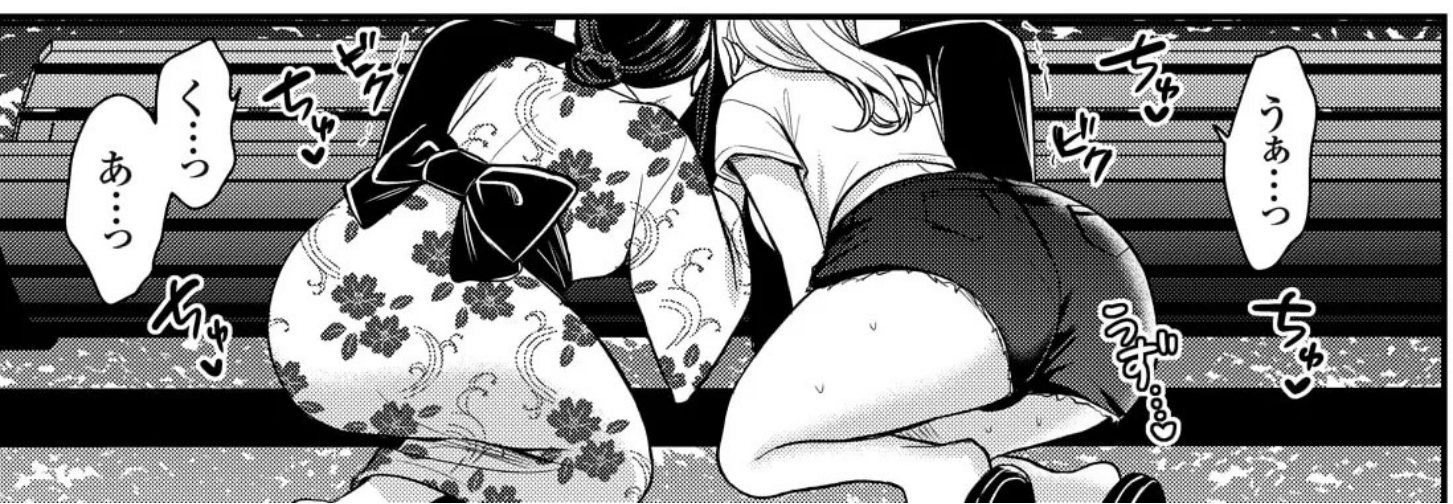
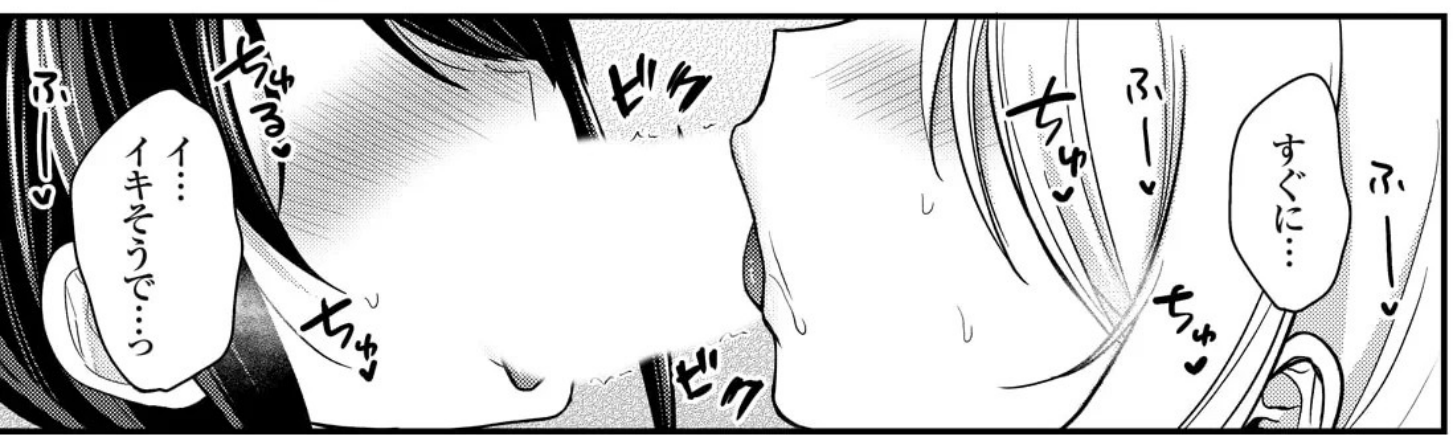
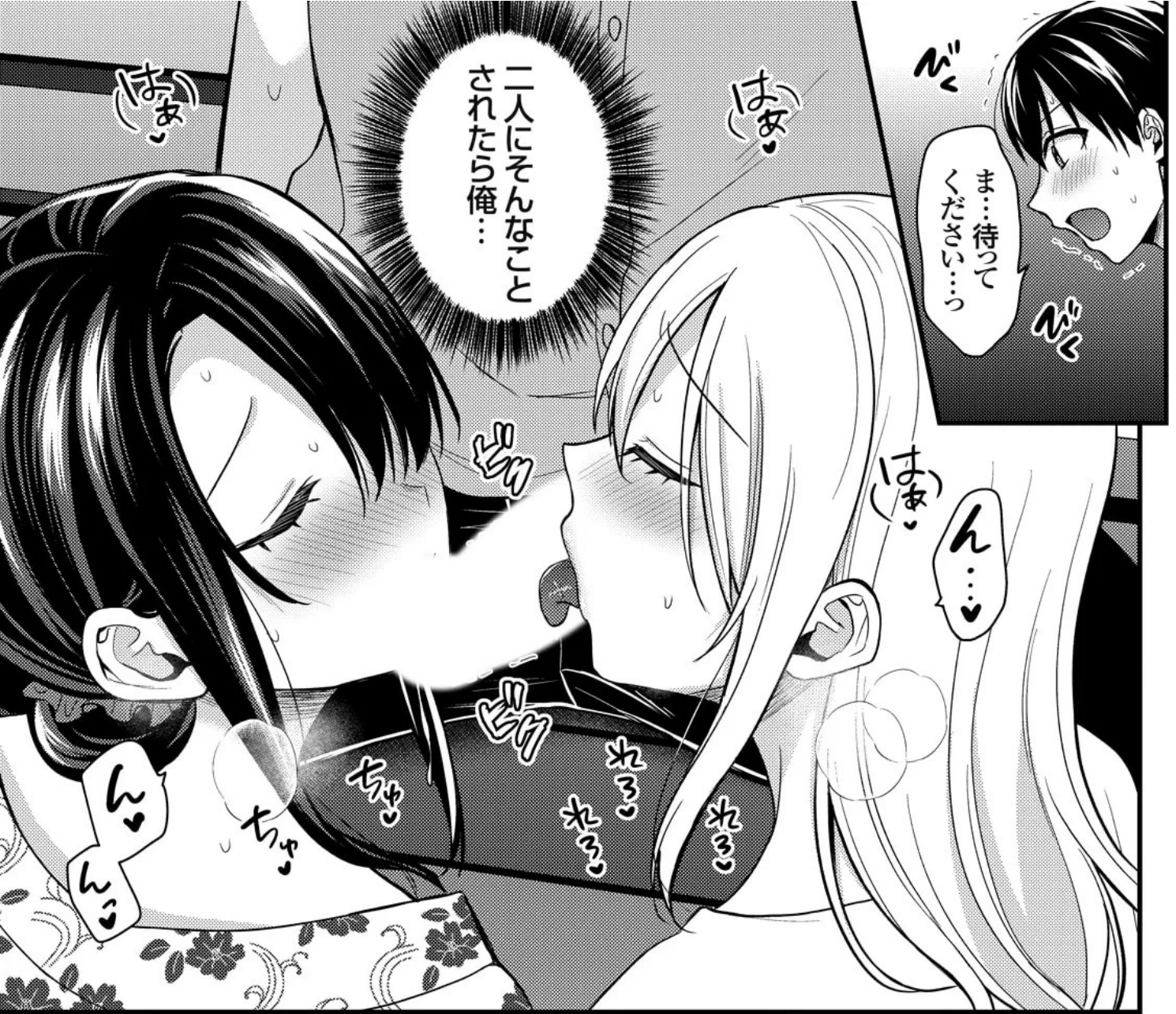
ねろ♡  
ねろ♡

~~~~~  
ッ  
ちほっ



は  
む

!?  
んんん





穂香…

え…？



これ以上は  
もう…っ



ちよっ…  
何勝手に  
脱がして…っ

このままじゃ埒が  
あかんのわかるやろ？



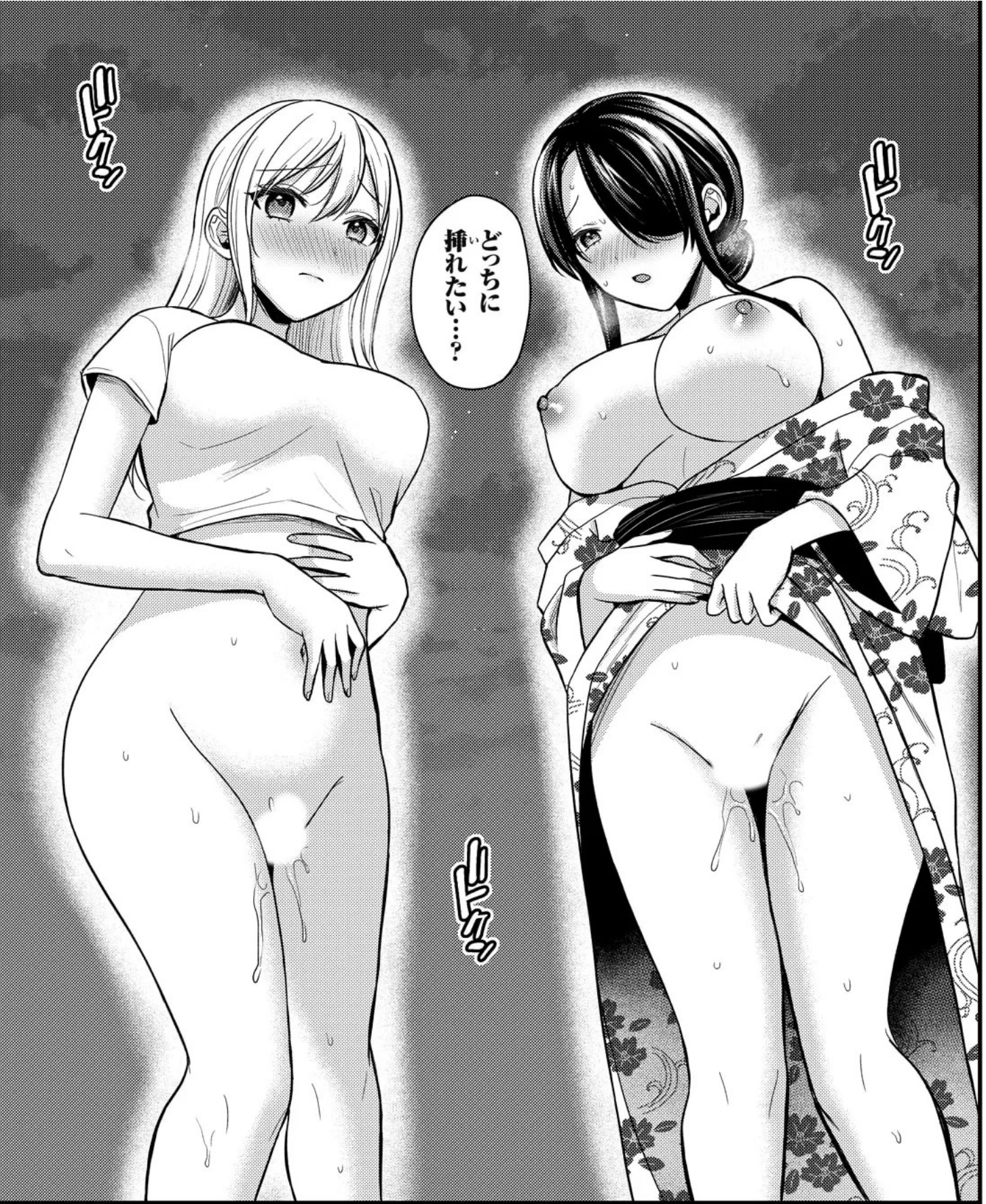
あんたも限界  
なんやろ？

ひゃっ！



だからここから  
先は西倉くんに  
決めてもらうの

すっ



どっちに  
挿れたい...?



え...?



すみません  
雪音さん…

雪音さんが俺のことを  
想ってくれているのは  
嬉しいけど…

でも…

それは…



やっぱり  
俺…  
女将さんのことが  
好きなんです

あ…



嬉しい…



...

ひんひん



あ...

ひんひん



ひんひん

ひんひん



挿れて...?

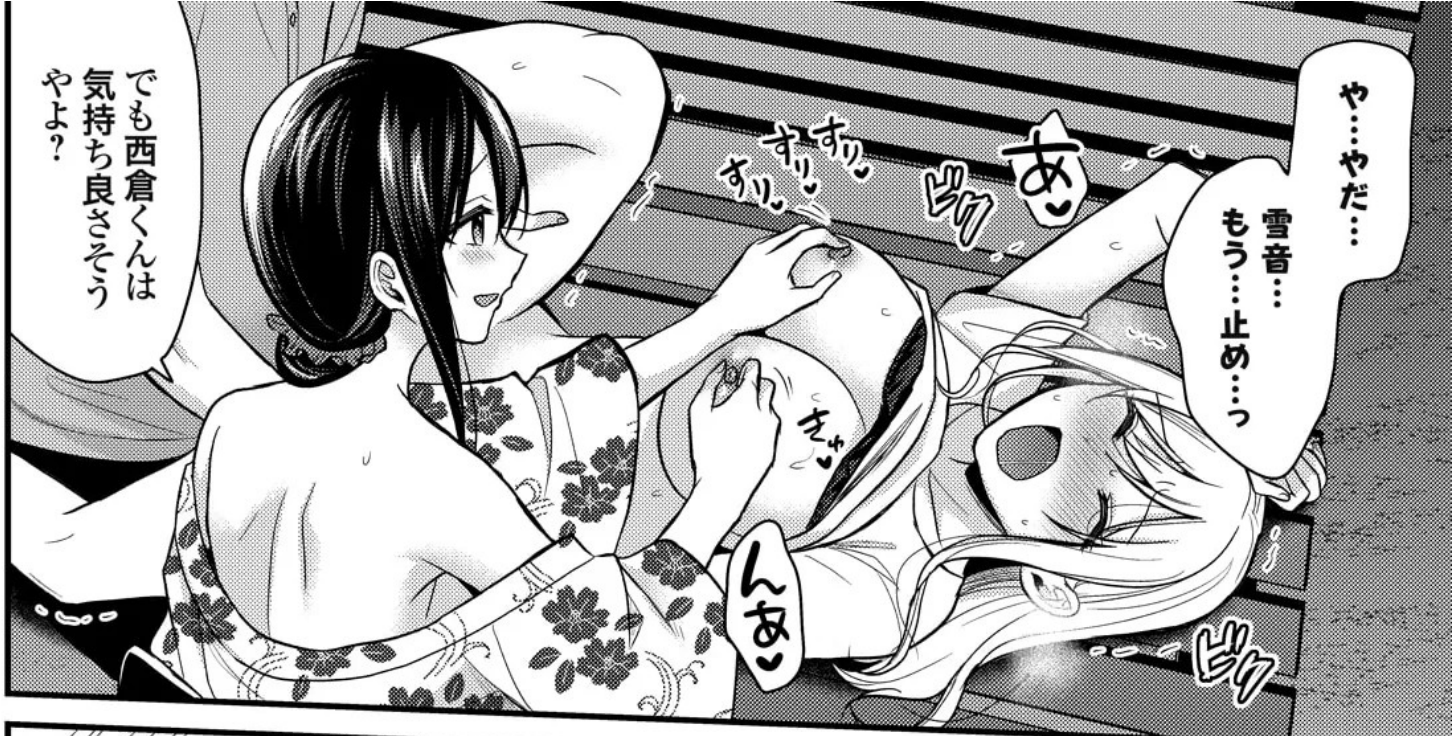
ひんひん

ひんひん

ひんひん







や…やだ…

雪音…  
もう…止め…

でも西倉くんは  
気持ち良そう  
やよっ…



すみません…  
俺…もう…



穂香も一緒に  
イツチャえ♡





この作品はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を  
無断転載・複写・複製・配信  
送信（ホームページ上への転載を含む）  
アップロード・デジタル化することを禁止します。  
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを  
行うことも禁止します。

forCS